

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025 年 7 月 17 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	岡本物流株式会社
所 在 地	〒108-0022 東京都港区海岸 3-26-1 パーク芝浦 8F
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 岡本 雅晴
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-5427-3803
	メー ル：satoyo1@okalog.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.okalog.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、1927年に創業し一般港湾運送業、通関業、輸出梱包業、国際複合輸送業、倉庫業、貿易代行業を営んでおります。 主に京浜港にて輸出入を取り扱っております。 (一般港湾運送事業者 免許番号 京浜港1種1068号)

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	輸入コンテナをラウンドユースし、輸出コンテナに活用することを推進し、温室効果ガス排出量を削減する。	削減 CO2 排出量 【目標】▲505 t-CO2
□環境 ✓社会 ✓経済	IT 化、合理化により、女性・高齢者・外国人・障がい者等の多様な人材の活躍と生産性向上を図る。	女性・高齢者・外国人・障がい者比率 【目標】50%
✓環境 ✓社会 ✓経済	テレワークを継続的に実施することで、誰もが安心して働ける環境を整え、経済成長を促すように取り組んでいく。また、通勤不要の為、CO2 削減にもつながる。	在社率 【目標】50%

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営層が積極的に関与している。 ・コーポレート部を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則第80条に明記しており、HPにもハラスメント防止指針を掲載している。 ・コーポレート部を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営層を含めて共有しており、産業医・顧問医を含めた体制を整備している。 ・毎月の全従業員の残業時間を経営層にも共有する様にしており、スタッフ部門のフレックスタイム制活用も含め、長時間労働の防止に取り組んでいる。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者の多い古河事業所については、生活指導も含めて相談員を配置している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生委員会を毎月1回開催し、周知徹底を図っている。 ・事故発生時はBad Newsを即時に経営層に展開し周知徹底を図っている。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全従業員に毎年1回ストレスチェックを行い、産業医・顧問医とも連携、結果確認も含めてメンタルヘルスが良好に維持できるように取り組んでいる。			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活用できるよう、短時間勤務、フレックスタイム、テレワーク、適切な職場への人員配置に取り組んでいる。 ・育児休業、介護休業を規則で定め、実施している。 ・障がい者を雇用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じて外部研修を活用しており、内部での研修も行っている。				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・待遇は同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・従業員への健康診断の実施、産業医・顧問医との連携を踏まえた再検査時のフォローをしている。			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・輸出入梱包では、鉄製のリターナブル梱包を実施。 ・請求伝票はシステム化によりペーパーレスを実施。 ・FAXはインターネットFAXに変更して印刷しないペーパーレスを実施。										11.6	12.4 12.5		14.1		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
12	【エネルギー】 ・ 自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ 横浜事業所では、電気、水道、LPGの毎月の使用量を把握し、削減活動をしている。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・ 荷役機械をLPGから電動化へ推進している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ ISO活動で環境関連法規一覧表にて規制を把握し、最新法令への更新も行っている。法令順守している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ ISO活動で、職場のパトロール時に清掃と緑化の状態を確認している。 ・ 敷地内に花を植えて美化活動している。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001 認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ ホームページの「環境への取組み」にて情報を開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 横浜事業所の電気は、一部再生可能エネルギーを利用している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 梱包する部品のQRコードを利用した確認をすることにより誤品防止を行い、再輸送の発生を防止している。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 木箱梱包から鉄製リターナブルラック化、完成車トラックのコンテナ化、コンテナラウンドユースを実施し、環境に配慮、Co2削減化している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 横浜事業所では、町内会の行事に参加し地域とコミュニケーション活動を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 横浜事業所ではクリーン作戦として、月1回事業所周辺の清掃活動を行っている。 ・ 障がい者就労支援事務所への作業委託も活用してい				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・全社目標として、経営理念及び経営目標を従業員に周知、共有している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・コンプライアンス教育、AEO教育、コンプライアンス・リスク委員会により従業員に重要性を教育・周知している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・コーポレート部にて管理している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・協力会社とのパートナーシップによる各種施策への参画(協力)している。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・コーポレート部にてマネジメントしている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・協力会社とのパートナーシップによる各種施策への参画(協力)している。 ・ISO14001認証規格に沿った事業運営を継続している																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・BCPの策定や情報セキュリティガイドラインに沿った取組み、安否確認システムの導入を実施している。 ・コーポレート部、IT戦略室を中心に各部署管理者層との連携を図り、事業継続に関するマネジメントを行っている。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・コーポレート部にてマネジメントしている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。) ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--